

2015年3月期 第2四半期 決算説明会



2014年12月2日
中央化学株式会社
(JASDAQ スタンダート:7895)

(I) 2015年3月期第2四半期決算の実績

(II) 現状の事業環境

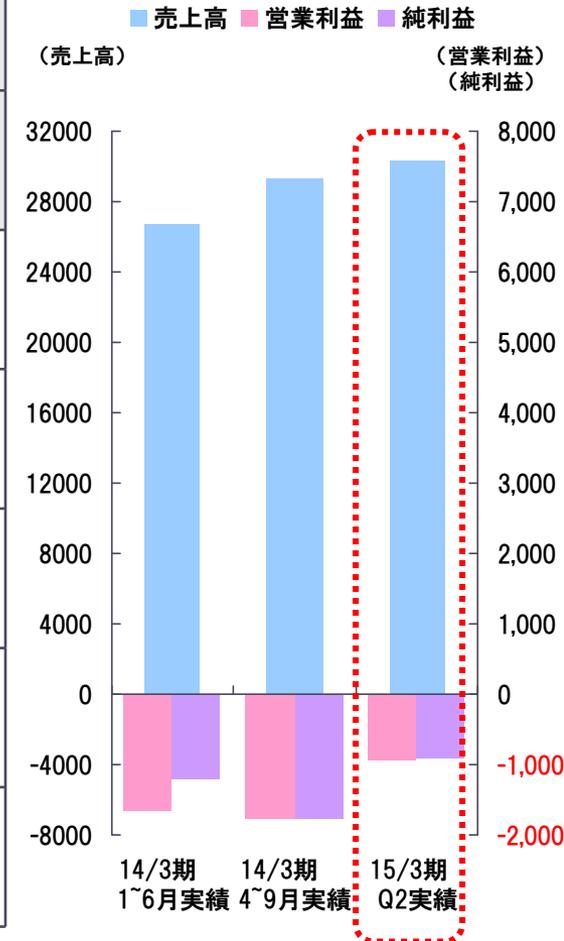
2015年3月期 第2四半期決算の実績

 中央化学株式会社

15/3期 第2四半期決算の実績

(単位:百万円)

	14/3期		15/3期				
	1~6月 実績 (構成比)	4~9月 実績 (構成比)	第2四半期 4~9月実績 (構成比)	前期比 1~6月 <対比>	前期比 4~9月 <対比>	第2四半期 累計計画 (構成比)	計画比 <達成率>
売上高	26,666 (100%)	29,282 (100%)	30,340 (100%)	3,674 <13.8%>	1,058 <3.6%>	30,900 (100%)	△560 <98.2%>
売上総利益	4,289 (16.1%)	4,576 (15.6%)	5,364 (17.7%)	1,075 <25.1%>	788 <17.2%>	—	—
営業利益	△1,649 (—)	△1,769 (—)	△938 (—)	711 <—>	831 <—>	0 (0.0%)	△938 <—>
経常利益	△1,227 (—)	△1,583 (—)	△771 (—)	456 <—>	812 <—>	△100 (—)	△671 <—>
四半期純利益	△1,214 (—)	△1,757 (—)	△899 (—)	315 <—>	858 <—>	△200 (—)	△699 <—>



業績修正について

期初計画を下方修正

プラスチック原料価格の コストアップ

為替要因

地政学リスク

電気料金アップ

運賃アップ

収益確保のための 取組み

拡販努力

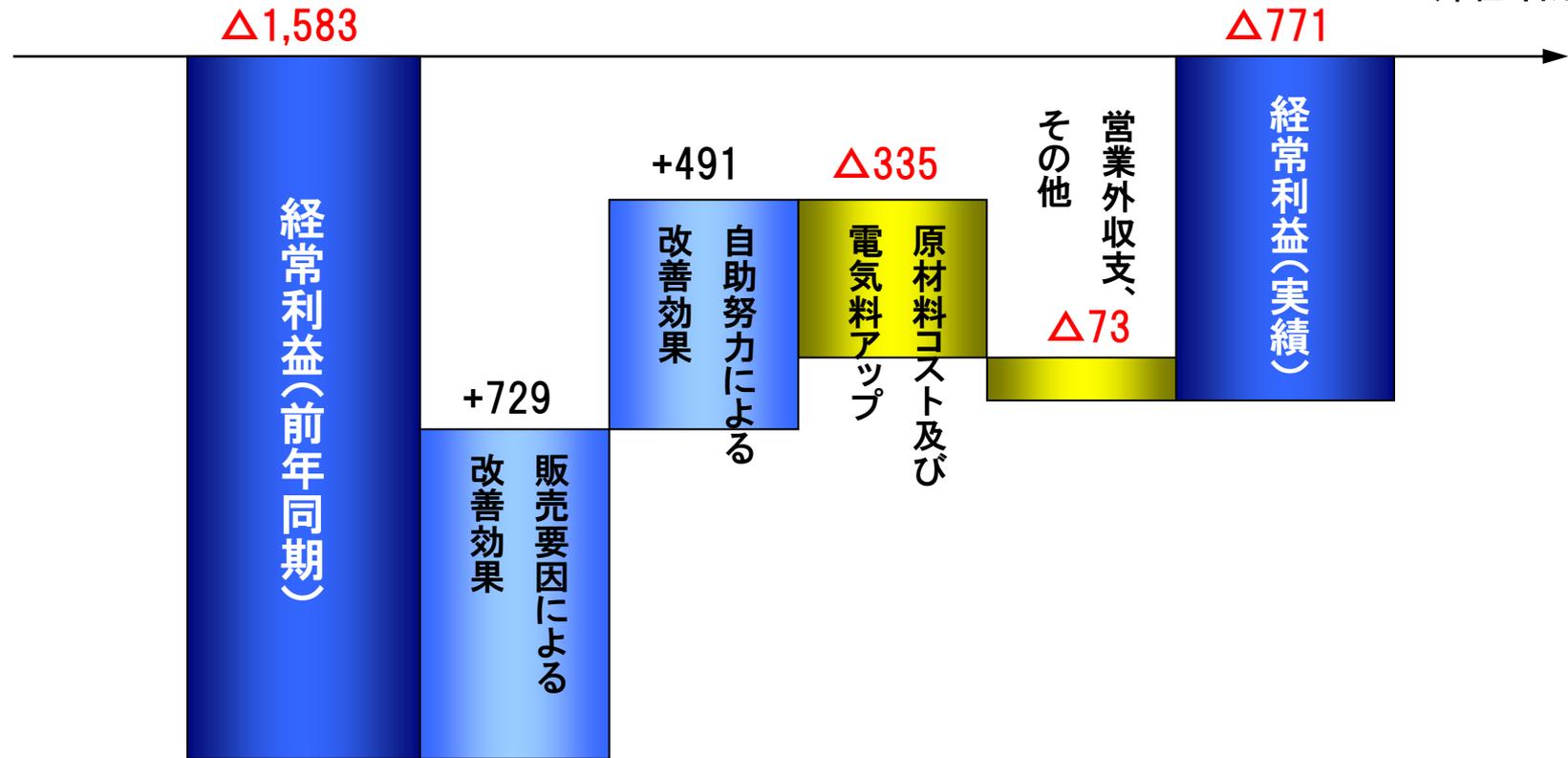
取引先への
採算是正交渉の継続推進

自助努力による
コスト削減

物流効率の改善

経常利益の増減分析(4～9月前年対比)

(単位:百万円)



2014年3月期
4～9月累計経常利益
△1,583百万円

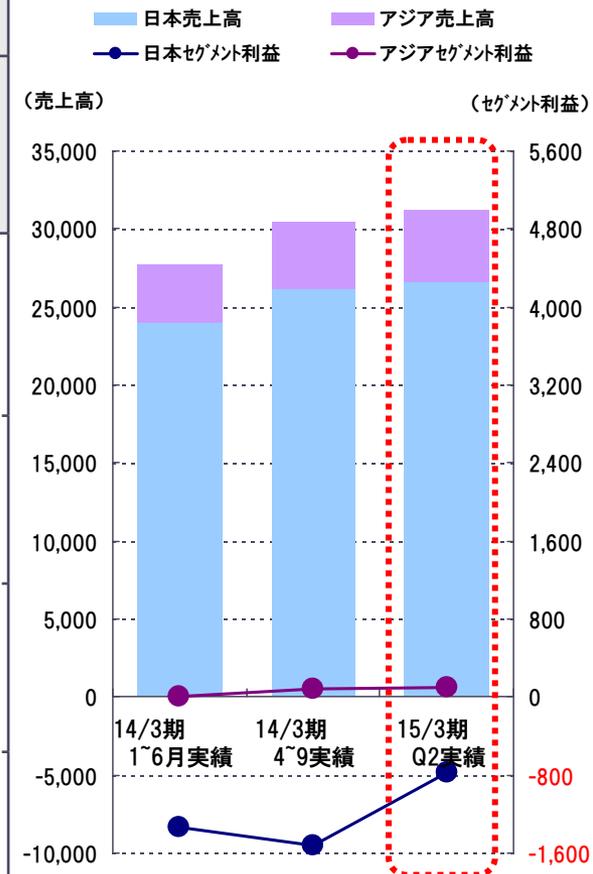
前年差異合計 812百万円

2015年3月期
4～9月累計経常利益
△771百万円

報告セグメントの売上高と利益

(単位:百万円)

		14/3期		15/3期				
		1~6月 実績	4~9月 実績	第2四半期 4~9月 実績	前期比 1~6月 <対比>	前期比 4~9月 <対比>	第2四半期 累計計画	計画比 <達成率>
日本	売上高	23,971	26,162	26,610	2,639 <11.0%>	448 <1.7%>	27,335	△725 <97.3%>
	セグメント 利益	△1,340	△1,517	△773	567 <—>	744 <—>	80	△853 <—>
アジア	売上高	3,676	4,229	4,548	872 <23.7%>	319 <7.5%>	4,487	61 <101.4%>
	セグメント 利益	9	78	92	83 <—>	14 <17.9%>	33	59 <—>



※ セグメント利益(営業利益)

貸借対照表の実績

(単位:百万円)

	14/3期末	15/3期 第2四半期末	増減額
流動資産	25,218	24,540	△678
現金及び預金	4,084	2,804	△1,280
受取手形及び売掛金	10,421	10,748	327
商品及び製品	6,277	6,705	428
その他	2,098	2,102	4
固定資産	20,549	19,992	△556
有形固定資産	19,595	19,005	△590
(リース資産・純額)	(4,594)	(4,322)	(△272)
無形固定資産	426	441	15
投資その他の資産	528	544	16
資産合計	45,768	44,532	△1,235
負債合計	35,529	35,050	△478
有利子負債残高	14,443	13,761	△682
(リース債務)	(4,884)	(4,608)	(△276)
純資産合計	10,239	9,482	△757
(自己資本比率)	22.4%	21.3%	—
負債純資産合計	45,768	44,532	△1,235

キャッシュフローの実績

(単位:百万円)

	14/3期 1~6月	14/3期 4~9月	15/3期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,403	△361	354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△758	△581	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,205	△257	△ 1,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	242	95	85
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△316	△1,104	△1,038
現金及び現金同等物の期首残高	5,153	5,607	3,836
現金及び現金同等物の期末残高	4,836	4,502	2,798

現状の事業環境

 中央化学株式会社

現状の事業環境

1. 国内事業の取組み

2. 中国事業の取組み

1.国内事業の取組み

国内事業の 取組み

1.国内事業の取組み：国内の業界環境①

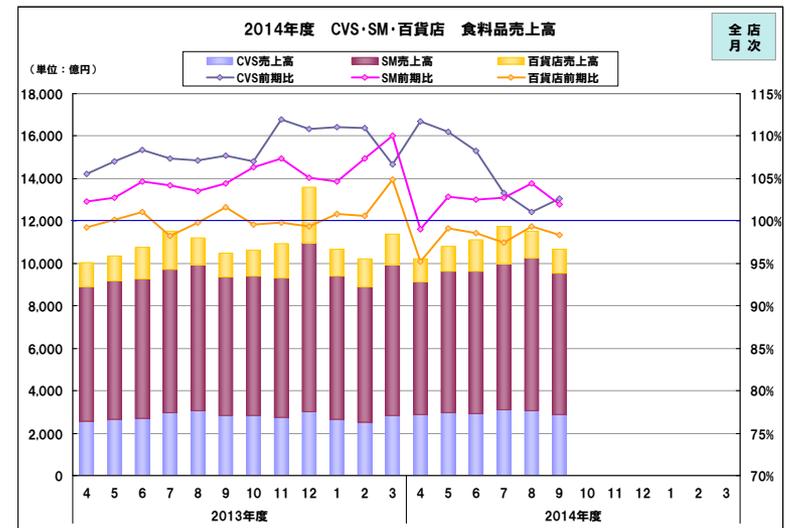
1. 消費税増税後の消費回復は鈍い
2. 消費者の節約志向、低価格志向が顕著に
3. 業態間の競争激化(スーパー、コンビニ、ドラッグストア等)
4. 原材料価格は高止まり(円安の進行)

- 消費者物価指数の上昇率が3%を超える一方、スーパーなどの店頭物価は下落に転じる。



出所：日本経済新聞記事(2つの「物価」、潜む節約志向)

- コンビニの食料品売上げの伸びが足元で鈍化。
- 消費税増税後、落ち込んだスーパーの食料品売上げは回復基調。
- 百貨店の食料品売上げは回復基調だが、未だ水面下。



出所：CVS …フランチャイズチェーン協会販売統計(日配食品)
SM …チェーンストア協会販売統計(食料品売上高)
百貨店…全国百貨店協会売上高概況(食料品売上高)

1.国内事業の取組み:国内の業界環境②

消費増税と円安による物価上昇、賃金とのギャップ

販売

小売価格



低価格競争の激化・
消費者節約志向の加速

(価格低減圧力)

生産

原材料コスト



仕入れ価格の上昇

(生産コスト更なる上昇)

国際市況の価格高止まり・円安

1.国内事業の取組み:自律自走(施策の徹底)



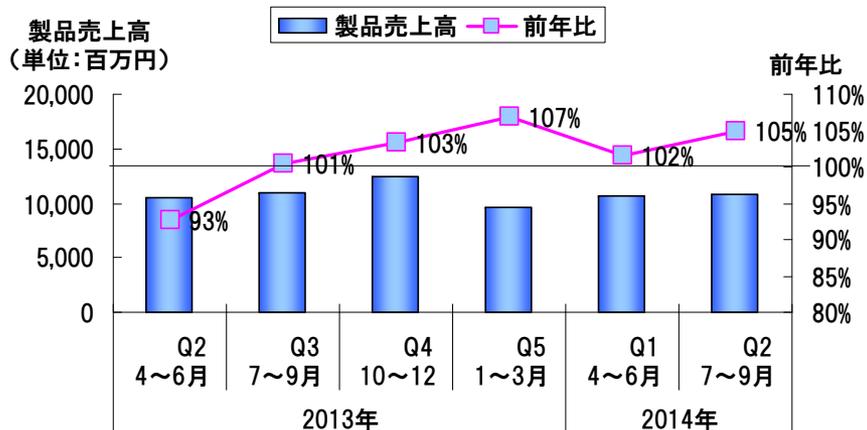
基礎体力強化と収益力の回復

1.国内事業の取組み:施策効果の浸透

足元の業績は着実に回復

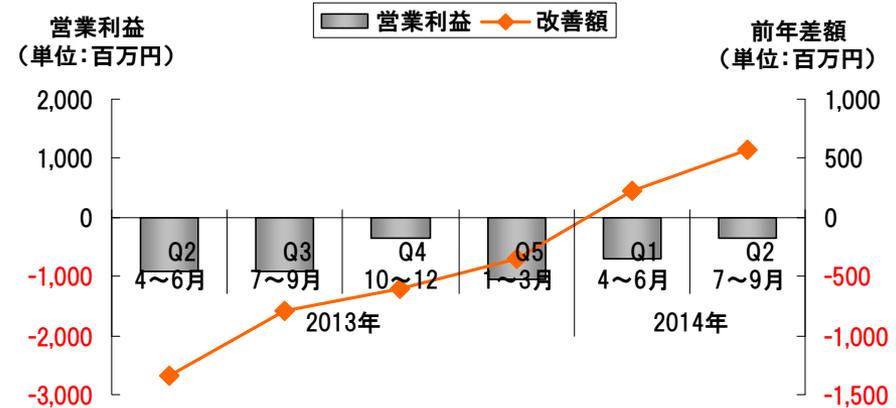
2014・製品売上高・推移表

2014・製品売上高・推移表



2014・営業利益・改善額推移表

2014・営業利益・改善額推移表



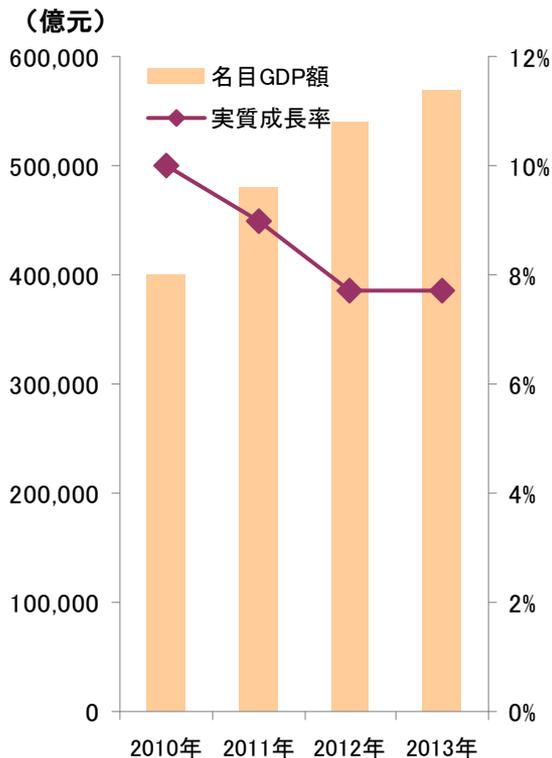
2.中国事業の取組み

中国事業の 取組み

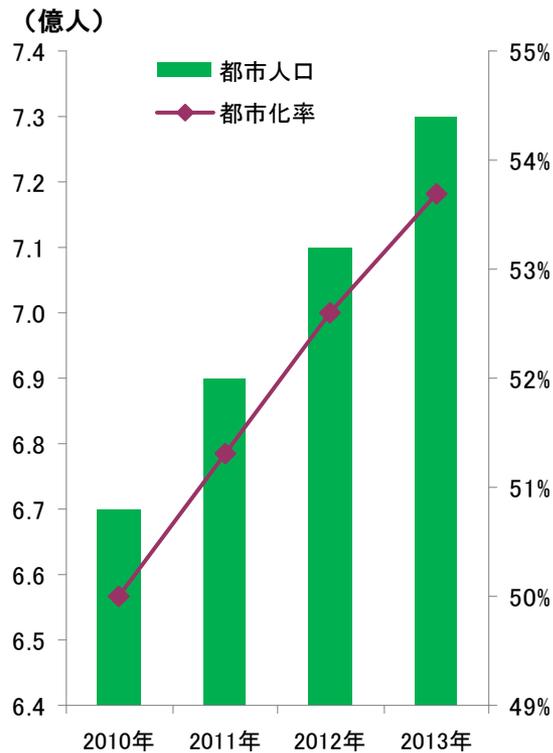
2.中国事業の取組み:事業環境

1. 経済成長と食文化の高まりによる食品包装容器市場の継続的拡大
2. 安心・安全・衛生、高級志向の高まり
3. 巨大マーケット

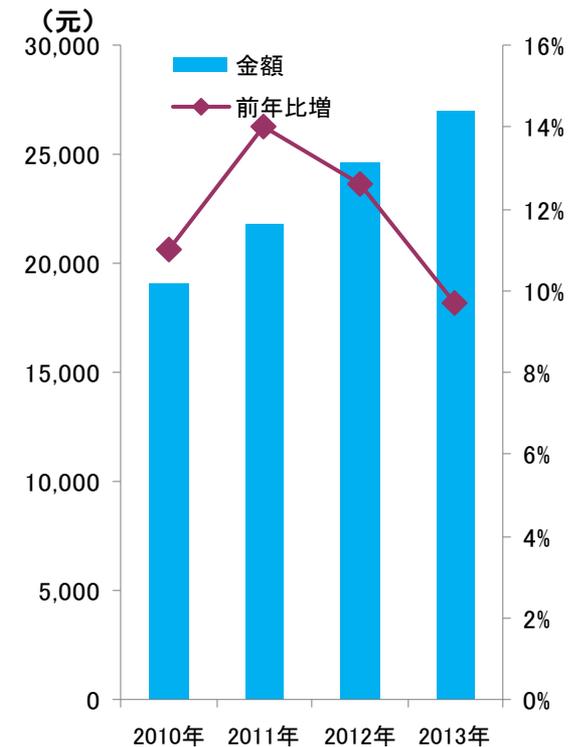
GDP成長率



都市人口と都市化率



都市家庭の可処分所得



2.中国事業の取組み:施策の徹底

中国人主導による改革続行(営業・生産・間接部門)

営業

- ・新評価制度導入
- ・提案営業強化
- ・エリア営業強化



営業力強化

生産

- ・新素材開発
- ・技術レベル向上
- ・生産性向上
(設備更新)



生産コスト低減

間接部門

- ・ガバナンス強化
- ・業務改善
- ・合理化
- ・経費削減



経営基盤強化

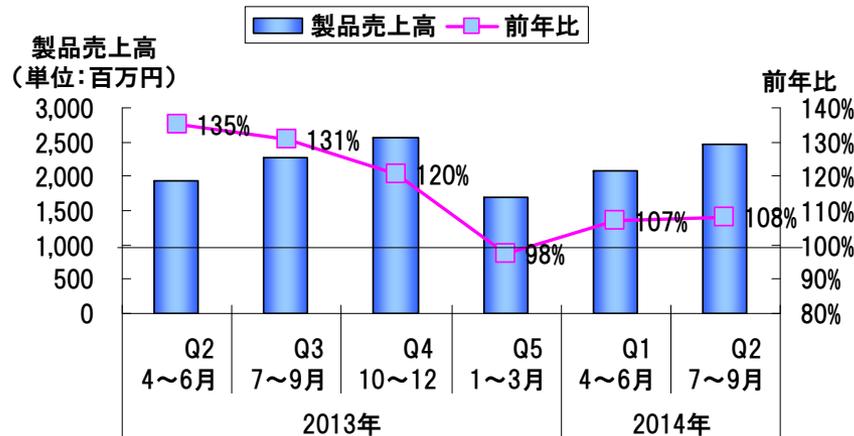
大きく変化する中国で、事業規模拡大を志向

2.中国事業の取組み:施策効果の浸透

足元の業績は着実に回復

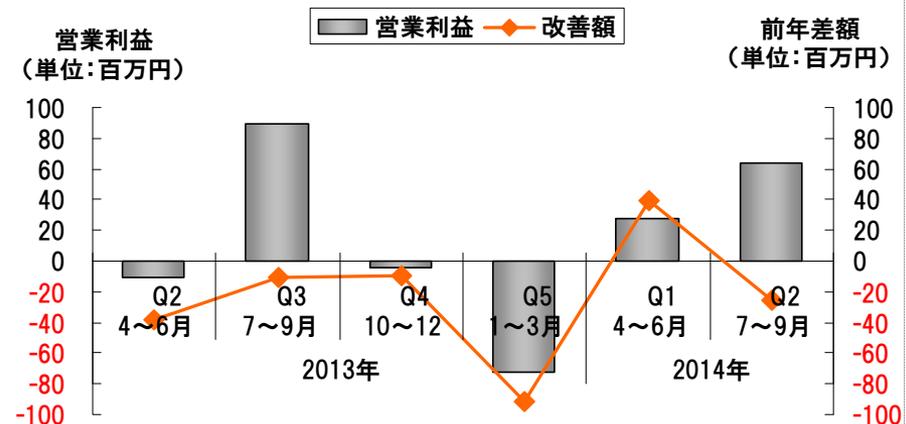
2014・中国事業売上高・推移表

2014・セグメント売上高・推移表



2014・中国事業営業利益・改善額推移表

2014・セグメント利益・改善額推移表



本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。

IRに関するお問合せ先：広報部
電話番号：048-540-2604